

2012 年度事業報告

1. 美しい手賀沼の実現に向けての提言と参画

「美手連は、関係市民団体及び手賀沼水環境保全協議会（手水協）、県、市などの自治体と協力・連携を図り、手賀沼浄化及び環境保全を進め広く市民に呼びかけます。」について

手水協の構成団体として、通常総会、担当者会議、幹事会、専門委員会に参加し、市民の視点からの意見を提案しました。

1) 手水協 専門委員会への参画

手水協専門委員会は、学識経験者、住民代表、事業者代表（柏市環境保全協議会、我孫子青年会議所、柏市沼南商工会）、利水団体（手賀沼漁協、我孫子手賀沼漁協、手賀沼土地改良区、木下土地改良区）、県、流域市により構成され、「手賀沼水循環回復行動計画」の推進について専門的な検討をすることを目的としています。美手連から4名（八鍬、間野、塩野谷、半沢）が住民代表として参加しています。

3月の委員会では、水環境保全事業、水循環回復行動計画策定に係わる検討ワーキング、美手連からも要望を出し実施されたハス群落拡大状況調査について報告され了承されました。水循環回復行動計画の長期目標「望ましい将来の手賀沼とその流域の姿」については、更に十分な時間をかけ、平成28年度「第7期手賀沼に係る湖沼水質保全計画」に向けて議論していくこととなりました。

2) 手賀沼水循環回復行動計画策定に係る検討ワーキングへの参画

「手賀沼水循環回復行動計画」の中期目標年度（平成22年）が経過したこと、23年度に「第6期湖沼水質保全計画」が策定されたことを踏まえ、専門委員会のワーキングとして行動計画の内容の見直しが検討されました。美手連からは、八鍬会長と間野副会長が参加しました。

改定案は、「第6期湖沼水質保全計画」のアクションプランとして位置づけ、新たな中期目標年度を27年度とし、行動メニューの更新、生物生息環境の保全、人と水との関わり合いの強化について充実が計られました。美手連として改提案を運営会議等で共有し、市民の視点で目標等を議論し、市民活動を行動メニューに提案しました。特に「冬水たんぼ」については、八鍬会長、間野副会長が粘り強く意見を述べ、行動メニューに「水田の機能を利用した水質浄化（冬季湛水）や休耕田の湿地化」として取り上げられました。

3) 手賀沼遊歩道についての提言

我孫子野鳥を守る会から、手賀沼ふれあい緑道の現状では歩行者と自転車の境界が認識しにくく、事故の危険性が高いため対策が必要との提案があり、柏土木事務所に要望書を提出しました。柏土木事務所との話し合いでは、救急車が出動する事故もあり憂慮しているとのことでした。後日要望について中間報告があり、自転車道と歩道の入れ替えは不可能であること、安全対策として路面の注意書きをもっとよく見えるように工夫・補充し、チラシの配布なども検討しているとの内容でした。

2. 行政との協働事業

(1) 手賀沼統一クリーンデイの充実

「手水協、県、市などの自治体及び他団体との連携や情宣の工夫により参加者の拡大を進めます。清掃活動を通して、市民にゴミのない綺麗な環境を維持することの素晴らしさと大切さを体感して貰います。」について

下手賀地区として、従来は印西市、白井市、柏市が交代で実施してきましたが、3地区とも毎年実施することを目指して、担当者が行政と話し合いを進めました。それにより、第10回統一クリーンデイは、柏地区、我孫子地区、柏下手賀沼地区、印西亀成川地区、白井地区の5地区で開催することができました。各地区が、参加呼びかけの対象を明確に行い、新たな団体、個人の参加が増えて、それぞれ充実した活動になりました。広報については、千葉西部読売会柏東支部・柏西支部、千葉北部読売会我孫子支部のご協力を得て、チラシ76,000枚を新聞折り込みしました。

【柏地区】12月2日実施

参加者172名（一般市民8名、千葉銀行清風会、千葉県サイクリング協会参加団体、竹中土木、北柏町会、柏市役所環境保全課、大堀川の水辺をきれいにする会他）

ゴミ収集量 300kg

作業範囲は、北柏ふるさと公園から大津川河口までの手賀沼自然ふれあい緑道沿いで、この範囲を5班に分け、遊歩道や湖岸の葦原の中のゴミ拾いと、一部は胴長を着けての作業でした。見た目ではあまりゴミは見当たりませんが、茂みの中や川淵では相変わらず空き缶やビニール系ゴミが隠れており、ゴミ袋に入らない大型のゴミも多くありました。なお、釣り人達に立て看板で事前連絡したこともあり、トラブルも無くゴミ回収に協力的でした。

【我孫子地区】12月2日実施

参加者438名（我孫子スカウト協議会、ふれあい手賀沼の会、我孫子野鳥を守る会、美しい手賀沼を愛する市民の連合会、我孫子青年会議所）

ゴミ収集量 510kg

今年は、例年よりゴミの量が少なかったが、道路下の草刈の際にゴミも回収したことと、花火がなかったからとの意見もありました。

【柏下手賀沼地区】12月2日実施

参加者42名（大津川をきれいにする会、沼南ライオンズクラブ、沼南倫理法人会、沼南手賀沼ボランティア会、柏市民、風早北部小学校生徒・父兄、県、柏市）

ゴミ収集量 2,000kg

清掃場所は、金山落（桜堤）北面に並行して走る農道の側溝、側溝の前面に雑草が生い茂っているため、大津川をきれいにする会と沼南手賀沼ボランティア会の6名で、11月27日に事前草刈りを実施しました。当日は、風早北部小の父兄と生徒たちの参加もあり、集合場所の手賀の丘公園から、マイクロバスで2往復し現地へ送迎しました。当日の作業は、刈り草を束ね、ゴミ拾いをしてもらいました。

【印西亀成川地区】12月1日実施

参加者48名、ゴミ収集量 340kg

「ホテルの里クリーン作戦」として、亀成川流域のホテル生息地の滞の草刈とゴミ拾いを行いました。毎年地元の方々が草刈りやトラックを出して下さっています。作業終了後、地藏寺を借りて、温かい豚汁で昼食。その後、800年前から続く獅子舞のビデオ観賞とその伝統を守

っている地元の方の話しを聞きました。その席上で板倉印西市長が「ホタルの里」の大切さを訴えられました。今後たくさんのホタルが観られるように保全していきます。

【白井地区】12月9日実施

参加者 64名（白井市民、印西市民、手水協関係者、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、アルバトロスヨットクラブ、美手連、白井市役所）

ゴミ収集量 300kg、他テレビ

白井市役所で集合し実行委員長挨拶後、マイクロバスで現地へ向かいました。3班に分かれ、アルバトロスヨットクラブは県道沿い、他の2班は桜並木の南北の道沿いのゴミ拾いをしました。下見の見当よりたくさんのゴミがあって、達成感のある活動になりました。

最後に今井3号橋で集合し、豚汁の提供と手賀沼クイズをしました。手賀沼の水質が少しずつ悪くなっていることを伝え、一人ひとりの心がけの大切さを伝えました。

(2) 流域フォーラムの開催

「第16回手賀沼流域フォーラムの事務局を担い、開催します。流域の団体、自治体と連携し実行委員会を組織して、大勢の市民参加をはかります。」について

地域企画は、23団体により25企画が開催され（一企画は雨天中止）、全体会として畠山重篤さんによる講演会「森は海の恋人 人の心に木を植える」を開催しました。ホームページを開設し広報したことで、講演会には遠方からの参加や畠山さんの活動を支援している人たちの参加もあり、好評でした。また、23年度事業として実施した「ハスを見よう！」や「大津川河口の清掃」で明らかとなったハス群落の拡大と特定外来種の繁茂について調査事業を実施し、3月に「手賀沼生き物調査報告会」を開催し、今後の取り組みについて、市民、研究者、行政で意見交換を行いました。さらに、佐倉市の「和田未来農業研究会」を訪問し、「冬水たんぼ」の取り組みについて学ぶことができました。

2012年度企画実績

	月日	企画名 ◆は親子企画	企画団体	参加人数
柏	9/17	旧沼南の住宅地に近い大井・箕輪地区の史跡を訪ね、昔をしのぶ	沼南 手賀沼ボランティア会	23名
	9/22	手賀川クルージングとウォーキング	手賀沼ガイドボランティア	13名
	9/29	手賀沼サイクリング	手賀沼ガイドボランティア	5名
	10/7	バスと船にて手賀沼、こんぶくろ池の水環境を学ぶ	大津川をきれいにする会	28名
	10/7	大堀川わくわくウォーキング	大堀川の水辺をきれいにする会	18名
我孫子	5/12	水と環境を考える～緑のカーテンで節電を～	我孫子市消費者の会	52名
	7/14	◆生きものと共生するかかしまつり ①かかし作り ②かかしまつり	NPO 法人手賀沼トラスト	①29名
	8/19			②82名
	8/4	◆手賀沼の水をもっとキレイにしよう！ ～家庭でできる取り組みは？～	我孫子市石けん利用推進協議会	31名
9/29	◆手賀沼親子体験ヨット乗船会	アルバトロスヨットクラブ	50名	

	9/30	◆手賀沼親子自然観察会-手賀沼用水路で魚とり！	手賀沼水生生物研究会	61名
	10/6	我孫子の歴史景観船上見学会 —手賀沼の歴史景観を観よう—	我孫子の景観を育てる会	32名
	10/8	川めぐりと史跡散歩	我孫子の文化を守る会	20名
	10/21	◆手賀沼賞 エコ・こども教室	我孫子市環境レンジャー	発表 63名 クイズ 436名
	10/28	◆船戸の森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう	船戸の森の会	84名
	11/25	◆手賀沼親子探鳥会～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～	我孫子野鳥を守る会	22名
流山	9/29	◆利根運河親子ミニウォーク	流山市立博物館友の会	25名
松戸	8/8	◆手賀沼をもっと知ろう ①「生活の中の化学物質」学習と手賀沼船上見学会	松戸環境ネットワーク	のべ110名 学習会40名
	7・8月	②定点観察(今年からポイントを変更、6ポイント)		
鎌ヶ谷	7/15	◆市民プールをミニビオトープに (10月27日、12月、2月観察会)	かわ・水・みどり	7/15 63名 10/27 10名
白井	11/24	ぐるっと一周平塚の里	しろい環境塾	25名
印西	7/25	◆水の旅～手賀沼船上観察、手賀排水機場見学	印西 水と暮らしを守る会	15名
	9/22	里山散策会①浦部川に沿った里山の散策と和泉の獅子舞見学②「自然と歴史を感じて」	印西ウエットランドガイド	①37名 ②雨天中止
	11/23			
	8/5	◆亀成川生きもの観察会	亀成川を愛する会	40名
	11/18	ドキュメンタリー映画「地球にやさしい生活」上映会	北総エコの木の会	78名
	10/14	◆手賀沼の魚を観察してみよう	千葉県手賀沼親水広場	20名
地域企画合計 ※()内は、2011年度				1,472名 (1,083名)
全体会	10/13	畠山さん講演会		170名
	3/1	手賀沼生き物調査報告会		45名
	3/13	冬水たんぼ見学会		22名
全体会合計 ※()内は、2011年度				237名 (351名)
2012年度総計 ※()内は、2011年度				1,709名 (1,434名)

(3)手賀沼流域協働調査を実施します。

「手水協、県、市などの自治体とともに湧水調査、手賀沼流域河川の水質・生物調査を行います。」について

6月の事前研修会に参加し生物調査方法について学びました。湧水調査は6月と12月に実施し、河川調査は6～7月に水生生物調査も合わせて実施し、12月は水質調査を実施しました。新たに、亀成川を愛する会が印西地区の協働調査に参加しました。

【美手連、加盟団体参加状況】

調査内容	行政区	河川名	場所	参加団体
春期湧水	柏市		大井小山台、中ノ橋前	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
	印西市		古新田	亀成川を愛する会
春期河川、 水生生物	柏市	大津川	高柳馬渡付近 高柳かきうち橋付近	大津川をきれいにする会
		大津川	大井二子橋	沼南手賀沼ボランティア会
		染井入落	宮前	
	大堀川	導水注入前、導水注入後 後原上樋管、天神前樋管 礫間浄化装置前、礫間浄化装置後 篠塚樋管、篠籠田橋樋管 木崎台樋管、地金堀合流前 地金堀樋管、地金堀合流後	大堀川の水辺をきれいにする会	
	印西市	亀成川	別所青年館 古新田第四橋	亀成川を愛する会
我孫子市	直接流入	都部新田（湖北集水路） 上沼田（第二干拓低地排水路）	ふれあい手賀沼の会	
冬期湧水	柏市		大井小山台 大井中ノ橋前	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
	印西市		古新田	亀成川を愛する会
冬期河川	柏市	大津川	高柳馬渡付近 高柳かきうち橋付近	大津川をきれいにする会
			大井二子橋	沼南手賀沼ボランティア会
		染井入落	宮前	
	大堀川	導水注入前、導水注入後 後原上樋管、天神前樋管 礫間浄化装置前、礫間浄化装置後 篠塚樋管、篠籠田橋樋管 木崎台樋管、地金堀合流前 地金堀樋管、地金堀合流後	大堀川の水辺をきれいにする会	
	印西市	亀成川	水神橋、花輪橋 別所青年館、古新田第四橋	
我孫子市	直接流入	都部新田（湖北集水路） 上沼田（第二干拓低地排水路）	ふれあい手賀沼の会 あびこ野鳥を守る会 岡発戸・都部の谷津を愛する会 NPO せっけんの街	

3. 啓発事業

(1) 次世代に対する環境学習事業

「子ども達が手賀沼に触れる機会を増やし、『手賀沼』を伝えます。」について

(i) 流域フォーラムの親子企画

流域フォーラムの13企画が親子企画として開催され、たくさんの親子参加がありました。手賀沼水生生物研究会「手賀沼親子自然観察会-手賀沼用水路で魚とり！」は魚採りの楽しさと手賀沼の生き物の豊かさを伝え、船戸の森の会「船戸の森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう」は森を守ることの大切さを伝え、おおぜいの親子参加でにぎわいました。我孫子市環境レンジャー「手賀沼賞 エコ・子ども教室」は、自由研究の発表に加えて、アビスタストリートでの展示とクイズに昨年を上回る参加がありました。また新たに、我孫子市石けん利用推進協議会「手賀沼の水をもっとキレイにしよう！～家庭でできる取り組みは？～」と、アルバトロスヨットクラブ「手賀沼親子体験ヨット乗船会」が開催され、手賀沼を知る体験学習の機会を提供しました。

(ii) 東京大学自然環境野外総合実習への協力

東京大学大学院山室真澄教授から、4月6日の新入生実習への協力依頼があり、23年度からスケジュール設定、資料「里沼 手賀沼の変遷」の作成等、打ち合わせを重ね、準備を進めました。研修内容は、船上での手賀沼学習と水質検査、佐藤所長による学習会とし、それぞれのポイントで伝える内容を2艘の船で同じ内容にできるように準備・練習をして臨みました。

水質検査に時間がとられるなどの反省点がありましたが、美手連の真摯な対応に感謝の言葉がありました。25年4月の手賀沼での実習についても協力依頼があり、24年度の反省点を踏まえて準備を進めました。

(2) 手賀沼とその流域に関する情報の提供

「ホームページの充実を図ります。加盟団体と連携して、刊行物出版により、手賀沼に係る情報を広く提供していきます。」について

ホームページの内容を整理し更新しました。記事掲載について不具合があり修正が必要です。勉強会のお知らせと、統一クリーンデイの報告を掲載しました。

(3) 学習会・講演会・見学会の実施

「手賀沼流域の環境を良くするため、幅広く知見を深める機会を設けます。」について

1) 講演会の開催

24年度の総会後に、発足後節目の年を迎えた4団体から、活動の歩みを教えていただきました。

◆我孫子野鳥を守る会 40周年記念事業を通しての会の活動

講演者 我孫子市野鳥を守る会会長 間野吉幸さん

テーマ 手賀沼の野鳥を愛する人たちの頑張り、その活動の軌跡

◆手賀沼を愛した文化人

講演者 我孫子の文化を守る会副会長 伊藤一男さん

テーマ 30余年の会活動～当会活動と縁の深い手賀沼文化人・偉人

◆ヨットを通して手賀沼に親しむ

講演者 NPO法人アルバトロスヨットクラブ理事長 斎藤健一さん

テーマ 手賀沼と共に30年～地域に根ざすヨットクラブを目指して

◆ 楚人冠のメッセージ 愛する手賀沼と共に

講演者 我孫子の景観を育てる会会長 吉澤淳一さん

テーマ 10周年記念誌に寄せられたメッセージ 楚人冠と手賀沼

2) 見学会の開催

「里山を生かしたまちづくり –NPO法人しろい環境塾の活動とそのフィールドを訪ねる–」をテーマとして、しろい環境塾のベースキャンプのある平塚の里の見学会を実施しました。

しろい環境塾は、白井市の里山を次世代に引き継ぐために、里山保全、農業支援、子どもの環境教育、環境講座・講習会などを行っています。10年余の活動で、樹林地7.4ha、復元農地3.6haを管理するまでになり、平成23年には、「田園自然再生活動コンクール 農水省農村振興局長賞」を授与されました。「日本の原風景である里地里山を今後どう守っていくのか、特に首都圏での担い手をどう確保するのか、その意味でリタイアメントが耕作放棄地を農地に復元するなど、地元農家と協力しあつての活動事例は素晴らしい」と高く評価される、その先進的な活動を学ぶことができました。さらに平塚地区は、手賀沼に向ってせり出した台地上に古くから開けた集落で、国指定重要文化財の滝田家住宅や、県指定文化財の延命寺観音堂、鳥見神社など数多くの文化遺産が残り、あまり知る機会の無かった手賀沼流域の里山の魅力も堪能することができました。

(4) 勉強会

「会員相互の理解を深め、連携を図るため実施します。」について

目的は各団体の活動目的や内容を共有すること、さらに、手賀沼とその流域の環境保全について知見を高めるために実施しています。24年度は以下を実施しました。

7月理事会のあと 「船戸の森の会」七尾忠さん、「手賀沼の水位について」塩野谷勉さん

10月理事会のあと 「手賀沼のプランクトンの今と昔」梶眞壽さん

1月理事会のあと 「冬水たんぼ」遠藤織太郎さん（手賀沼トラスト）

4. 手賀沼流域の生態系を復活させるための取り組み

「水生生物再生事業について、行政、加盟団体とともに調査・研究を進めます。特定外来生物の生息状況について、行政、加盟団体とともに調査・研究を進めます。合わせて駆除の活動を支援します。」について

1) ハス群落の拡大と特定外来種の繁茂について調査事業

流域フォーラム実行委員会からの委託事業として、魚類調査（ハスの拡大による影響）、オオカワヂシャの自生地等の調査、ハスの刈り取り実験調査を実施しました。魚類調査は手賀沼水生生物研究会、オオカワヂシャの自生地等の調査は手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会が中心となって実施しました。

ハスの刈り取り実験調査については、時期的に遅いことと、放射能の影響により処理が困難であることから、25年度に実施できるよう、情報収集を進めることとし、茨城県宍塚大池での「宍塚の自然と歴史の会」のハスの刈り取りについて聞き取り調査を行いました。

以上の調査活動について、フォーラム事業として報告会を開催し、今後の方向性について意見交換を行いました。ハスについては駆除すべきとの意見で一致し、特定外来種についても、早急に対策を進めなくてはならず、必要に応じて修正していくという状況であることが共有されました。

2) 亀成川源流部の生態系保全に関する支援活動

亀成川を愛する会が取り組んでいる亀成川源流部の生態系保全活動を支援するため、6月シンポジウム「いのちを育む印西の原っぱ」の共催団体となり、7月「亀成川源流部（千葉ニュータウン21 住区）の生態系保全と土地利用計画の見直しについての要望書」を千葉県やUR等へ提出することに賛同しました。3月には、千葉ニュータウン21住区が25年度中に造成されようとしている状況を打開するための、UR・県・企業庁・印西市宛の「千葉ニュータウン21 住区に残る全国的にも貴重な生態系を活かしたまちづくりを求める署名」活動の賛同団体となり、協力しています。

3) 染井入落の生態系保全に関する支援活動

染井入落の土水路では、湛水防除（農地防災）を目的として三面張り護岸への改修工事が進んでいます。多数の貴重種が生息していることが判明し、柏自然ウォッチャーズ、柏ホテルの会、手賀沼水生生物研究会、美手連、自然観察ジャーナリストやビオトープ管理士などの専門家、沼南高校の生物の先生、柏市環境保全課が生態系保全について話し合い、県農林水産部東葛農業事務所に工事中止の申し入れを行いました。県としては、工事中止はできないものの、最大限生態系に配慮した工法を考慮するとの回答がありました。

5. その他

「美手連の目的を達成する事業について支援します。」について

1) 民民プロジェクト

23年度から継続してNPO法人アコバが県との協働事業として進めている「民が民を支える仕組み構築モデル事業・東葛地域」の運営会議に参加し、加盟団体へ情報提供しました。「マッチング会議」では松戸地区参加者は54名、我孫子地区での参加者は52名で、名刺交換が行われました。モデル事業としては終了したが、プロジェクトは継続されることとなりました。

2) ウォーキングマップ

柏土木事務所が作成する手賀沼周辺のウォーキングマップ作りに協力しました。

3) 手賀沼学会

八鍬会長が学会運営委員会の副会長として参画しています。

4) エンジョイ手賀沼

後援団体として物品の貸出等で協力しました。

5) 印旛沼水質保全協議会・手賀沼水循環保全協議会共催勉強会への出席

山室真澄教授による「平野部湖沼における水草と水質」と題した講演会に参加し、運営会議で報告し意見交換をしました。

6) 千葉県手賀沼親水広場運営会議

24年度は2回開催され、八鍬会長が運営会議委員として参加しました。